



2026年5月14日

各 位

会 社 名 T D S E 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 東 垣 直 樹  
(コード番号:7046 東証グロース)  
問 合 せ 先 管 理 統 括 長 田 中 秀 幸  
(TEL.03-6383-3261)

## 新中期経営計画「SHIFT 2028」について

当社は、2026年4月から開始する新たな3カ年の経営指針として、中期経営計画「SHIFT2028」の具体的な計画および目標値を決定しましたのでお知らせいたします。本計画では、当社が企業独自のAIモデルによる意思決定から生成AI・エージェントを活用した意思決定支援を軸として、事業構造および売上ポートフォリオをより成長率の高い生成AI×ストック型ビジネス領域へ段階的に転換していくことを目的としております。

### 1. 新中期経営計画「SHIFT 2028」のコンセプト

#### (1) 期間

2026年4月～2029年3月の3年間

#### (2) ビジョン (再掲)

市場環境の不確実性が高まる中、企業においては、迅速かつ的確な意思決定を行う能力そのものが競争力となっています。当社はこれまで、データ分析やモデル構築を強みとして、顧客企業の高度な意思決定を支援してきました。一方で、生成AIおよびAIエージェントなどのテクノロジーの進展により、分析結果を踏まえた判断、実行、運用に加えて、エージェントを活用した経営・業務プロセスの自動化までを含めて支援することが可能となりました。この変化の中において、企業における意思決定のあり方は、データとAIの集合知を活用した新たな意思決定モデルへと移行しつつあります。

当社では『次世代労働力としてのエージェント（データとAIの集合知）と、人が共存・共創する社会へのシフト』を「SHIFT 2028」のビジョンとして掲げ、生成AI・エージェントを活用することで、人の意思決定を拡張し、企業経営のスピードと質を高める支援を提供していきます。

### 2. 経営戦略

「SHIFT2028」では、今般の生成AI・エージェントの進展を当社の事業構造および収益モデルを本質的に転換する契機として捉え、テクノロジー、ビジネスモデル、実行体制の三つの観点から、段階的な構造転換を進めてまいります。

#### (1) 3つの構造転換

カテゴリ	内 容
① テクノロジー	成長軸の転換（従来型AIから生成AIへ）
② ビジネスモデル	収益構造の転換（フロー型からストック型へ）
③ 実行体制	営業組織および技術組織の再設計による実行力強化

※具体的な説明内容は、2026年3月31日開示の新中期経営計画「SHIFT 2028」骨子、ならびに2026年5月14日開示の事業計画及び成長可能性に関する事項に掲載しておりますので参照願います。

## (2) 組織強化にむけた取組

「MISSION2025」で得られた学びを元に、次世代成長と信頼向上にむけた再構築を進めます。

「SHIFT2028」では、次世代にむけた意思決定支援企業への進化【攻め】と経営管理・ガバナンスの再設定【守り】の両軸で組織強化を図ります。

区分	内容
攻めの領域	トップマネジメントが機能する営業組織の集約と機能
	AI エージェント事業の技術組織への統合と生成 AI 領域での再編
守りの領域	経営管理の精緻化に向けた予実管理の確度向上
	経営の透明性を担保するための各種プロセス指標による進捗管理

※経営戦略における新サービス・製品の展開については適切なタイミングで各種媒体を通じて開示してまいります。

## 3. 経営目標・定義

### (1) 経営目標・指標の位置づけ

「SHIFT2028」では、売上高を最重要となる経営管理指標 (KGI) として位置づけ、着実かつ堅固な成長の確保に取り組んでまいります。

あわせて、

- 生成 AI・エージェント売上比率
- ストック型収益の売上比率

を段階的に高め、成長率の高い領域へのシフトを進めます。これらは事業構造転換の進捗を測る補助指標 (KPI) として位置づけ、事業運営を行ってまいります。

### (2) 最重要経営管理指標 (KGI)

KGI	2025 年度実績	2028 年度目標	年平均成長率 (CAGR)
売上高	30 億円	38~43 億円	2028 年度 / 2025 年度 年平均 8.2%~12.7% 成長

### (3) 重要経営管理指標

KPI	定義	2025 年度実績	2028 年度目標
生成 AI・エージェント売上比率	生成 AI・エージェント関連サービスおよび当該プロダクトが関与する売上高の売上高全体に対する割合	約 30%	60%
ストック売上比率	継続利用・契約に基づくストック型収益の売上高全体に対する割合	約 20%	30%

※2028 年度の最終目標は設定しますが、初年度である 2026 年度および次年度の 2027 年度はビジネス基盤の構築と段階的な成長を図る経過年度と位置づけるため、当該年度の数値目標は非開示とします。

#### 4. 今後の予定

なお、本開示内容について、策定に至った考え方・計画含め全体概要を6月3日開催予定の2026年3月期決算および新中期経営計画「SHIFT 2028」説明会にてご説明させていただき、参加される皆様からの質疑応答についても、後日公開させていただく予定です。

#### 5. 参考資料

2026年3月31日開示、新中期経営計画「SHIFT 2028」骨子について

2026年5月14日開示、事業計画及び成長可能性に関する事項

2026年5月14日開示、2026年3月期決算短信

以上